

ジャガイモ

令和6年 6月21日

「威風堂々⑤～体育祭編最終号～」

校長 江口 満

【前号からの続き】5月25日(土)晴天の下、本校第18回体育祭「威風堂々」が開幕した。生徒の皆さんの気迫に押され、カメラを持つ両手が汗ばむ。集団が発する熱量をむしろ楽しむかのように自身の肺が酸素を求めて大きく上下する。体育祭が終わって一か月ほど経つが、その余韻がまだ心の中に残っている。

あの日、体育祭閉会式で、私ははっきりと総括した。「3年生の勇姿に、感動した」と。

これが仰星学園高等学校の体育祭なのか。この体育祭を始めて体験する一年生の皆さんも、きっと同じ気持ちになったはずだ。

三年生のみんな、よくぞ一、二年生を、引っ張ってくれた。



体育祭実行委員長西川先生

団長・副団長・サポーターの皆さん 三年生の皆さんは、小学校の時から、新型コロナウイルスの影響で、様々なことが制限された時期もあったと思う。しかし、こんなにも力強い若人に成長していたんだと、改めて感じた。

そして、三年生の皆さんの最後まであきらめない限界を超えた走りに、演技に、応援に、そして魂を込めた仰星舞「かみどん」、「ソーラン節」に、感動した。昨年まで中学校の校長だったからこそ、その感動はひととき大きなものがある。

三年生の皆さんの「威風堂々」とした姿が、仰星学園高等学校の伝統の一ページに、あの日、確かに記された。

二年生の皆さんは、今から、学校行事、生徒会も部活動も君たちが三年生から全て引き継いでいく。そして体育祭当日、一、二年生の皆さんのひたむきに演技する姿から、次年度本校創立20周年に向け、この仰星学園高等学校を任せていけると確信した。三年生が残す伝統を受け継ぎ、さらに来年、越えることを期待する。その活躍が、今から楽しみでならない。



3年D組の皆さん



3年女子有志の皆さん



選抜男子・逃げる！玉入れ！



選抜女子
逃げる！玉入れ！





3 団対抗リレー



選抜男子・騎馬戦



仰望演舞「かみどん」
「ソーラン節」

